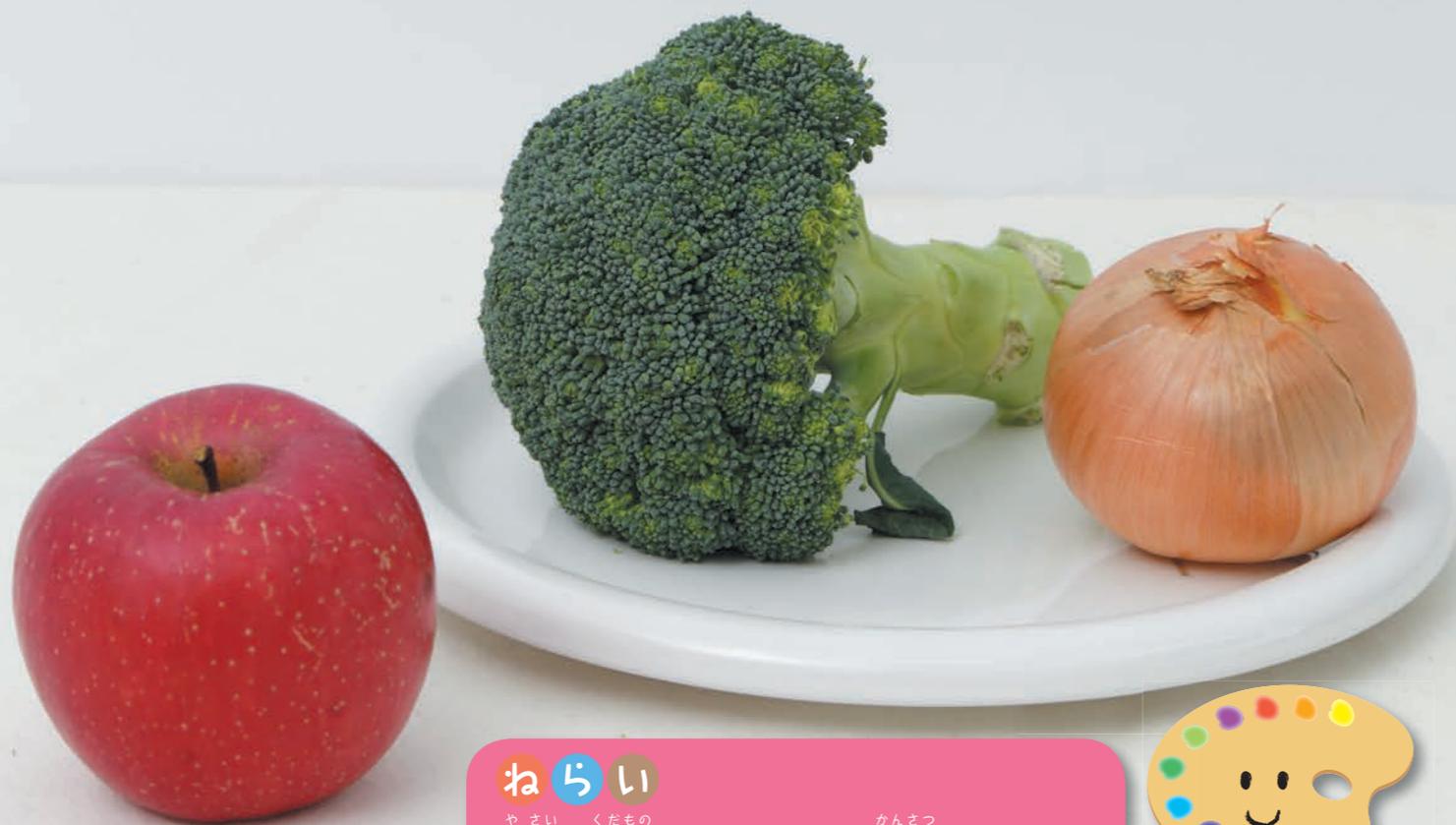


野菜や果物を かいてみよう!

制作時間

4時間

いくつかの野菜や果物を組み合わせて、かいてみましょう。



ねらい

野菜や果物ひとつひとつを観察して
大きさや形、質感のちがいをかき分けよう。
形や色味の異なるモチーフ（絵の題材）を
組み合わせるとかきやすいよ!



野菜
デッサン
水彩

1

大まかな形をとらえよう

はじめに、どの角度から絵をかくかを決めて、大まかな形をとらえます。基本的な形に置きかえると、あとでかげをかくときに便利です。

かくところをさがそう

指でわくをつくり、片方の目でわくの中をのぞきます。モチーフから30cmほどはなれて、ややなめに見下ろす位置からかくと、かきやすいです。モチーフを大きく入れましょう。モチーフが2、3個の場合は、すべてが画面に収まるようにしましょう。

親指と人さし指を使ってわくをつくります。

縦



横



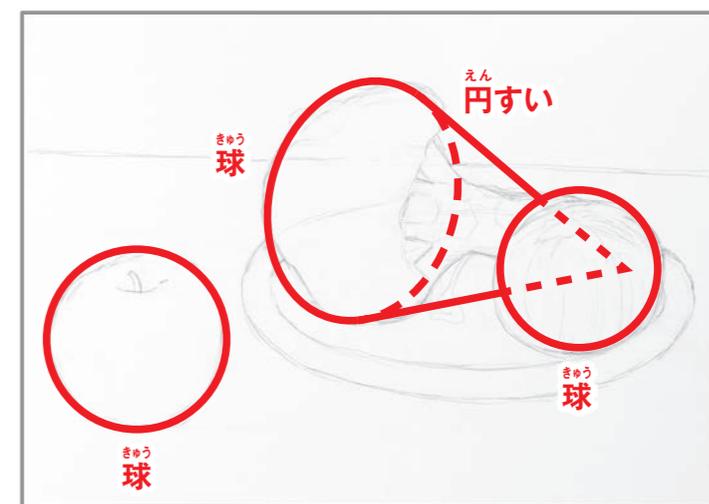
大まかな形をかこう

形や位置関係をよく観察して、大まかな形をかきます。りんごや玉ねぎは「球」、ブロッコリーは「球と円すい」のように、基本的な形に置きかえて考えてみましょう（くわしくは16ページ）。ものの位置が決まったら、大まかな形をとらえます。

デッサンの続き→8ページへ
水彩の続き→12ページへ



りんごと、皿の上のせたブロッコリーと玉ねぎをかきます。



画面の横はばいっばいになるように、モチーフを大きく入れました。

全体に色をぬろう

ここからは、水彩画をかくときの手順をしょうかいします。7ページを参考に大まかな形をとらえたら、全体にうすい色をぬります。ベースとなる色をぬっておくと、つぎの工程で色を重ねたときに美しい色に仕上がります。



さいしょは
うすい色をぬるんだね。

光が当たる上の面は
さらにうすい色で
ぬってあるよ。



背景には
好きな色をぬって
いいんだね！

パレットに絵の具を出そう

パレットに、黒色と白色以外の全色の絵の具を箱の並びどおりに出しましょう。黒色を使うと、色にごってしまうので出しません。白色は仕上げのときにだけ出して使います。チューブから出した絵の具をそのまま使うのではなく、2、3色を混ぜて使いましょう（くわしくは1巻16ページ）。

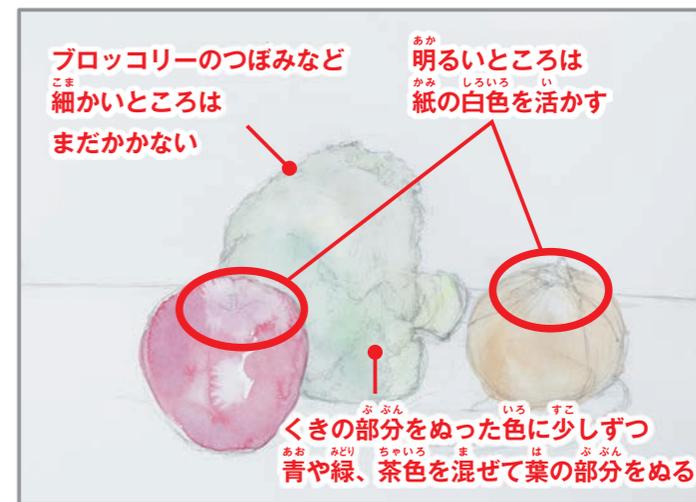


大まかに色をぬろう

太めの筆を使って、果物や野菜に大まかに固有色をぬります。たっぷりの水でといた、うすい色を使います。絵の具が垂れてくる場合は、水の量が多すぎるので減らします。いちばん明るいところは、紙の白さを残します。



ブロッコリーのつぼみとくきの部分とで、色を変えました。

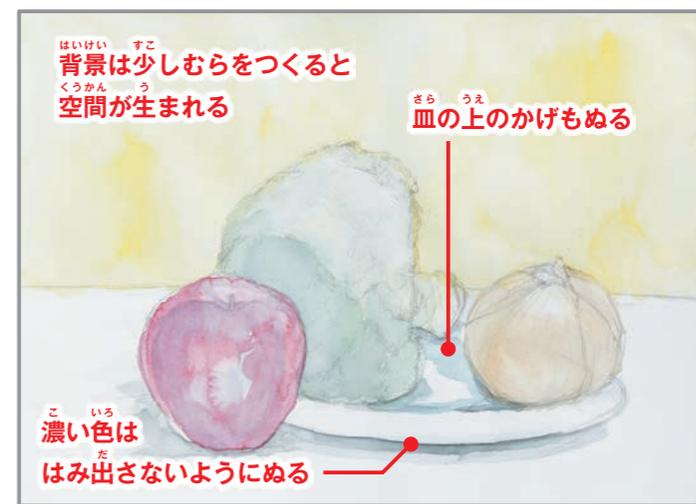


かげと背景をぬろう

大まかに固有色をぬったところに、中太の筆を使ってうすくかげの色を重ねていきましょう。背景をぬるときは太めの筆を使います。大きなタッチで、モチーフをじゃましない色をぬりましょう。



青色と茶色を混ぜた色で、かげをぬりました。



基本的な形に置きかえよう

モチーフをかくときに、さいしょから形に忠実な線をかこうとすると、かき進めていくうちに大きさや形が整えにくくなってしまいます。下にあるような基本的な形に置きかえられるものは、一度その形を頭の中でイメージして大まかな形をつかんでから、かげのつきかたや表面のようすなどの細かいところをかきこんでみましょう。

基本的な形

基本的なものの形や、持ちようをしょうかいします。たいていのものは、これらの形に置きかえることができます。面の見えかたを確認したり、かげをかいいたりするときの参考にしましょう。

● 球

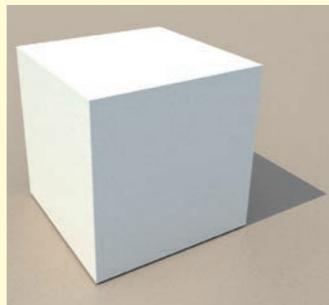


どこから見ても同じ形をしています。球にできるかげには丸みをもたせましょう。ゆかのかげをしっかりとくことで立体的に見えます。

たとえば…

- りんご
- ボール
- 人の頭

● 立方体・直方体



6つの面から成り立っていて、すべて垂直に交わります。どの面がいちばん明るいかに注目しましょう。

たとえば…

- サイコロ
- ティッシュの箱
- 本

● 円柱



底の面は円形ですが、真横から見ると四角形に見えます。円柱にできるかげは側面の丸みに沿ってかきましよう。

たとえば…

- コップ
- トイレtpーパー
- 電柱

● 角柱

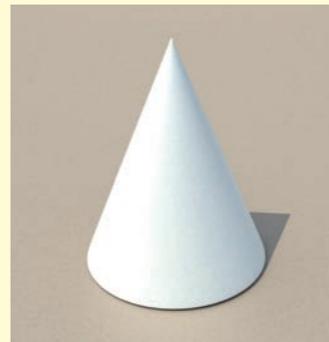


底の面が角ばっていて、真横から見ると四角形に見えます。面ごとの明るさに注目しましょう。

たとえば…

- えんぴつ
- ピーマン
- かぼちゃ

● 円すい

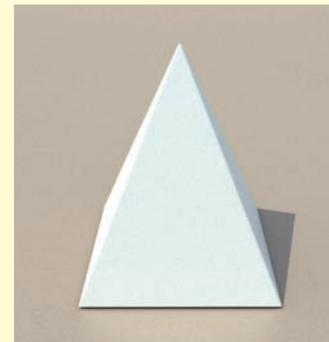


底の面は円形で、真横から見ると三角形に見えます。円すいにできるかげは側面の丸みに沿ってかきましよう。

たとえば…

- にんじん
- 木
- 山

● 角すい



底の面が角ばっていて、真横から見ると三角形や四角形に見えます。面ごとの明るさに注目しましょう。

たとえば…

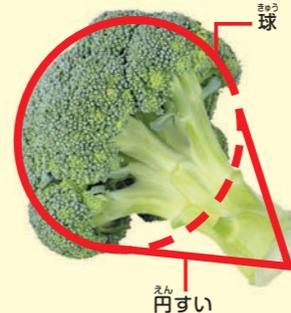
- オクラ
- 屋根
- タワー

基本的な形の組み合わせ

複雑な形に見えるものでも、分解して見てみると基本的な形の組み合わせでできています。

たとえば… ブロッコリー

小さなつぼみが集まった複雑な形なので、一度でかき上げようとするとむずかしいです。ひとつの大きな球と、円すいに置きかえましよう。



たとえば… びん

びん全体をひとつの円柱や円すいとしてとらえることもできますが、分解して見てみると、さまざまな形が組み合わさってできていることがわかります。

